

(専門分野)

授業科目	臨床看護技術演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.複合的な条件の事例を予測性・個別性をもってアセスメントし、実践できる能力を習得する。 2.卒業時の技術到達度をふまえて、自己の看護技術の達成状況と課題を明確にする。				時間数
					30
					学年
					3
					時期 第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1～2	複合事例の症状のアセスメント	1.臨床推論の展開 1)臨床推論とは 2)臨床推論の方法 2.多重課題と優先度の決定 1)多重課題とは 2)多重課題とヒューマンエラー 3)優先度の判断規準 3.複合事例展開の実際 1)疾患の理解 2)疾患看護・症状看護 3)アセスメント		講義 演習	教員
3～5	アセスメントに基づく看護の実施と複合した治療処置の必要な患者への援助の実際	1.事例に必要な治療・処置 2.事例に必要な看護 3.事例の看護実践 1)優先度 2)看護実践のポイント 4.自己の看護技術の到達度と課題の明確化		演習	
6～8	複数患者受持ち時の援助の優先度の決定とタイムマネジメント	1.複数患者を受持つために必要な情報収集 2.1日のスケジュールの立て方 1)タイムスケジュールの作成 2)優先度の決定 3)各業務に要する時間の把握 4)事前準備 5)人的資源の確認とチームメンバーとの協力 3.複数患者の事例展開 1)優先度決定 2)援助計画とタイムスケジュール		講義	
9～11	複数患者受持ち時の援助の優先度の決定とタイムマネジメント	1.事例の看護実践 1)優先度 2)看護実践のポイント 3)タイムマネジメントのポイント 2.自己の看護技術の到達度と課題の明確化		演習	

12 ～ 14	看護チームの一員としての メンバーシップ行動	1.リーダーシップとメンバーシップ 2.チームワークとコミュニケーション 1)チームワークとは 2)チーム形成プロセス 3)アサーティブコミュニケーション 4)看護チームにおける情報伝達・共有	講義 演習	
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ		
評価 方法	筆記試験 50点 課題 50点	テキ スト	なし	